

1 事業活動の概要

(1) 観光関係

・ホームページのアップデート、SNS への投稿

当事務所のホームページにある4道県についての情報を随時更新しているほか、Facebook、インスタグラムの投稿を行いました。(崔対応)

・日韓交流おまつりへの参加

9 月 25 日(日)に、ソウル特別市にあるコエックスで開催された日韓交流おまつりに4道県の PR ブースを出展しました。ブース内では観光パンフレットの配布、事務所のインスタグラムアカウントをフォローしてくれた方への記念品プレゼントを実施したほか、試飲・試食コーナー、フォトゾーンなどを設置し、4 道県の魅力を様々な形で発信しました。3 年ぶりのリアルでの開催となった日韓交流おまつりの来場者は、総じて日本に興味を持っている人が訪れるイベントであったため、効果は高かったと思います。開催直前となる 9 月 23 日深夜に日本へのビザなし渡航再開の報道があったこともあり、日本に気軽に行けるようになることへの期待感を来場者から感じました。(崔対応)



【Instagram フォロワー イベント】



【フォトゾーン】

(2) 物産関係

・ビジネス開拓支援事業

主に輸入実績のある企業からの情報を収集し、該当の道県担当者へ情報提供しています。また、北海道及び岩手県の企業と韓国輸入会社とのオンライン商談をそれぞれ実施したほか、サンプル品の提供を実施しました。(金次長対応)

・バイヤー招へい事業の準備

渡航制限が徐々に緩和されてきたことから、10 月に秋田県へのバイヤー招へい、11 月には北海道へのバイヤー招へいと、3 年ぶりとなるバイヤー招へい事業の準備を進めています。(金次長対応)

・食の展示会「フードウィーク 2022」の準備

11 月 2 日から 5 日の期間で開催されるフードウィークに 4 道県のブース出展の準備を進めています。今回は、3 年ぶりに 4 道県の食品メーカーの方や県の職員が来韓してのバイヤーへの PR、商談となりますので、しっかりと準備していきます。(金次長対応)

2 新型コロナウイルス感染症について

(1) 感染状況とコロナ対策

韓国の新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、8月中旬に15万人を超える日が続いていましたが、徐々に減少し、10月上旬には2万人台にまで減ってきており、政府も「新型コロナ再流行のヤマ場をはっきりと越えている」と述べています。

韓国政府はこのような感染者数の減少傾向を受け、9月26日から屋外でのマスク着用義務を全面解除しました。今年5月に屋外でのマスク着用義務をなくしていましたが、50人以上が集まる屋外での集会やスポーツ試合の観戦等では引き続き着用を求めています。9月26日からはマスクなしでスポーツの試合やコンサート等に行くことができるようになります。ただし、屋内でのマスク着用義務は当面維持されます。

(2) 水際対策

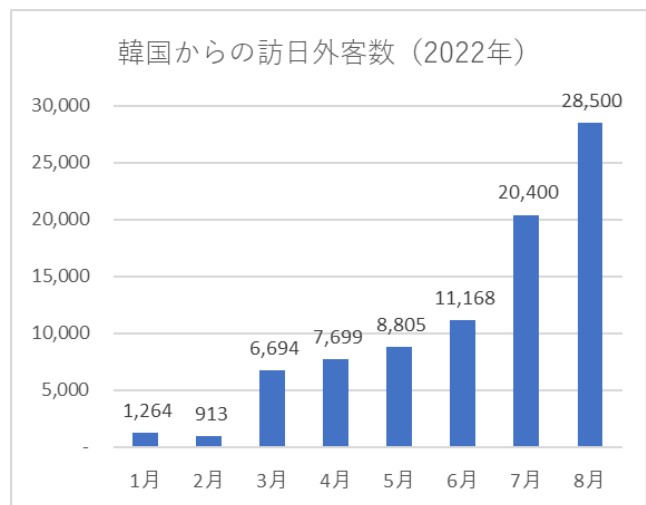
韓国政府は9月30日に新型コロナウイルス対策として海外からの入国者に義務付けている入国後1日以内のPCR検査を10月1日から廃止すると発表しました。これにより入国者に対する新型コロナウイルス感染症の防疫措置が全てなくなると報道されています。

3 統計データ

韓国からの訪日外客数

韓国からの訪日外客数は6月から日本が観光ビザを出すようになって以来、大きく伸びています。9月7日からの陰性証明書の提出不要、10月11日からのビザなし渡航再開などの水際緩和により、今後どの程度増えていくかが注目されます。

また、韓国航空会社も日本のビザなし渡航などの水際緩和を受け、日本路線を大幅に増やしていくことが報道されています。



(出典: 日本政府観光局(JNTO)、7、8月の数値は推計値)

4 トピック

様々なイベント

9月23日から24日の2日間、明洞のメインストリートで「明洞宇宙ビールフェスティバル」というイベントが開催され、多くの人々がビールを片手に屋台で買った軽食をつまみながら、涼しくなってきた夜の時間を楽しんでいます。以前のまっすぐ歩けないほどに人であふれた明洞がこの日は戻ってきました。このほかに、ソウル市庁広場でのソウル都市農業博覧会、北村地域でのソウルビューティトラベルウィークなどのミニイベントがあちこちで行われています。また、コロナで開催を見合わせていた漢江花火大会といった大規模イベントも3年ぶりに開催され、様々なイベントが目白押しとなっています。多くの人々がイベントを待ちわびていたと感じます。